

家族（1970）

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 Color
時間 107分
初公開日 1970/10/24
公開情報 松竹

【解説】
高度経済成長期の日本を背景に、貧しい一家が開拓村へ移り住むため長崎から遙か北海道へ向かう長い旅の道のりを描いた異色ロードムービー。船や電車を乗り継いで行くその道中で、様々なトラブルや不幸に見舞われながらも家族の絆を拠り所に力強く生きていく姿が胸に響く感動作。監督は「男はつらいよ」シリーズの山田洋次。撮影に1年を掛け、日本列島縦断ロケを敢行。
長崎の伊王島。貧しいこの島に生まれた民子と精一が結婚して10年の歳月が流れていた。小さな島で家族5人を養っていくことに限界を感じた精一は、自分の会社が潰れたのを機に、友人が勧めてくれた北海道の開拓村への移住を決心するのだった。

【クレジット】
監督 山田洋次
製作 三島与四治
原作 山田洋次
脚本 山田洋次
宮崎晃
撮影 高羽哲夫
美術 佐藤公信
編集 石井巖
音楽 佐藤勝
出演 倍賞千恵子 風見民子
井川比佐志 風見精一
笠智衆 風見源造
前田吟 風見力
富山真沙子 風見澄江
春川ますみ 娼婦
寺田路恵
三崎千恵子
塚本信夫 沢亮太
梅野泰靖 丹野先生
花沢徳衛 チンケ
ハナ肇 Hana Hajime 喜劇俳優
渥美清 連絡船の男